

利尻・礼文島のハモグリバエ (昆虫綱: 双翅目)

笹川満廣

〒 573 - 0084 大阪府枚方市香里ヶ丘 7 丁目 6 - 7

Leaf-mining Agromyzid Flies (Insecta: Diptera) from Rishiri and Rebun Islands, Hokkaido

Mitsuhiro SASAKAWA

7-6-7 Korigaoka, Hirakata City, Osaka Pref., 573-0084 Japan

Abstract. Twenty species of the Agromyzidae (Diptera) from Rishiri Is., 9 from Rebun Is. and 2 from Todo Is. are recorded. *Agromyza nigrella*, *Liriomyza flaveola*, and *Phytomyza milii*, *solidaginis* and *virgaureae*, are recorded from Japan for the first time.

Key words: Agromyzidae, Diptera, new records, Rishiri Is., Rebun Is., Todo Is.

はじめに

1958年7月30日から8月13日にかけて利尻・礼文島のほか、トド島でも採集を試みた。时期的にはハモグリバエの採集適期でなかったようであるが、利尻山登頂の際、道路際の寄主植物の葉肉内に潜孔中の幼虫観察結果から、ハモグリバエ9種の分布について当時報告した。その後、未同定の採集品は、諸般の事情によって、標本箱に保存されたまま今日に至ってしまった。ここに遅ればせながら、追加種を記録する。

材料と方法

成虫標本はすべて筆者が捕虫網によって採らえたもので、必要に応じて雄交尾器を解剖し、種を確認した。同定後の標本の一部は利尻町立博物館および大阪市立自然史博物館に寄贈することにする。

採集地および採集日は下記のとおりで、前者は文中略記し、後者は省略する。

利尻島 (Rishiri Is.): 鴛泊 (7月30日, OD)

本泊 (8月2日, MD)

鬼脇 (8月3-6日, OW)

礼文島 (Rebun Is.): 船泊 (8月13日, FD)

分布種

I. Agromyzinae 亜科

1. *Melanagromyza pubescens* Hendel, 1923

13♂5♀, MD; 1♂, FD; 6♂3♀, トド島, 12.viii.1958.

2. *Agromyza nigrella* (Rondani, 1875)

Domomyza nigrella Rondani, 1875, Boll. Soc. ent. ital., 7: 174.

日本初記録; 成虫はヤノハモグリバエ *Agromyza yanonis* (Matsumura, 1916) に酷似するが、触角第3節の背前端が少し角張り、脚は全体が黒色 (利尻産の1雄は前脚脛節端とふ節が明らかに褐色であった) であり、陰莖の distiphallus がきわめて長いのが特徴である。本州各地にも産する。幼虫はいろいろなイネ科植物の葉に潜ることが知られている。

1♂, OW; 1♂1♀, FD.

3. *Agromyza phragmitidis* Hendel, 1922
アシハモグリバエ
1 ♂, FD.
4. *Agromyza potentillae* (Kaltenbach, 1864)
バラハモグリバエ
既報 (1958)
5. *Ophiomyia pulicaria* (Meigen, 1830)
タンポポハモグリバエ
既報 (1958)
- II. *Phytomyzinae* 亜科
6. *Cerodontha (Poemyza) bisetiorbita* Sasakawa, 1961
ササハモグリバエ
1 ♀, OD.
7. *Liriomyza flaveola* (Fallén, 1823)
Agromyza flaveola Fallén, 1823, *Agromyzides Sueciae*, p. 6.
日本初記録；褐色の腿節は先端 1/3-1/5 が黄色で、黄色の中胸側板 (anepisternum) は前縁から腹縁にかけて黒色 (三角紋状) で、側板剛毛は黄色部に生じる；黒色の腹部背板の側縁は黄色ないし淡褐色である。ヨーロッパでは、幼虫がオオムギやスズメノカタビラなど、いろいろなイネ科植物の葉に潜るという。
1 ♂, FD.
8. *Liriomyza ptarmicae* de Meijere, 1925
Liriomyza ptarmicae de Meijere: Sasakawa, 1994: 60, fig. 5.
幼虫はキク・ヨモギ類の葉に潜る。
1 ♂ 1 ♀, OD; 2 ♂ 1 ♀, MD; 1 ♀, OW; 1 ♂ 1 ♀, FD.
9. *Liriomyza pusilla* (Meigen, 1830)
Agromyza pusilla Meigen: Sasakawa, 1994: 56, fig. 1.
幼虫はヨモギよりもヨメナ・アキノキリンソウ類を好んで潜る。
5 ♀, OD; 2 ♂ 3 ♀, MD.
10. *Liriomyza yasumatsui* Sasakawa, 1972
Sasakawa (1994, fig. 4) 参照；雌の翅長は 1.5-2 mm. 幼虫の食草はヨモギ類、
6 ♀, MD; 2 ♂ 3 ♀, FD.
11. *Calycomyza artemisiae* (Kaltenbach, 1856)
ヨモギフクロモグリバエ
1 ♂, Numaura, 2.viii.1958; 既報 (1958)
12. *Phytomyza archangelicae* Hering, 1937
1 ♂, OD ; シシウド潜孔幼虫から羽化. 既報 (1958).
13. *Phytomyza artemisivora* Spencer, 1971
ヨモギスジハモグリバエ
4 ♂ 6 ♀, MD; 3 ♂ 5 ♀, OW; 2 ♂ 2 ♀, FD.
14. *Phytomyza eupatorii* Hendel, 1927
ヒヨドリバナハモグリバエ
既報 (1958).
15. *Phytomyza hydrangeae* Sasakawa, 1956
ノリウツギハモグリバエ
既報 (1958).
16. *Phytomyza lappae* Goureau, 1851
既報 (1958).
17. *Phytomyza milii* Kaltenbach, 1864
Phytomyza milii Kaltenbach, 1864, *Verh. naturh. Ver. preuss. Rheinl.* 21: 3.
日本初記録；頭部は褐色で、単眼三角区の両側は黄褐色、胸部は灰黒色；翅長は 2.4-3 mm ; *distiphallus* の背腹両面にはそれぞれ 1 対の黒色節片が存在する。幼虫はイネ科植物の葉に潜孔するといわれる。本州にも分布する。
16 ♂ 25 ♀, OW ; 4 ♂ 2 ♀, FD.
18. *Phytomyza ravasternopleuralis* Sasakawa, 1955
ハンゴンソウハモグリバエ
既報 (1958).
19. *Phytomyza solidaginis* Hendel, 1920
Phytomyza solidaginis Hendel, 1920, *Arch. Naturgesch.*, A 84: 159.
日本初記録；全体はほぼ黒色であるが、額板や膝部は黄色；翅長は 1.4-1.7 mm ; *basiphallus* には約 30 本の巨棘を生じ、*distiphallus* は全く膜質である。北海道峠岳でアポイアズマギクの葉に潜孔していた本種が加藤 真博士によって採集されている。

2 ♂, MD.

20. *Phytomyza umanomitsubae* Sasakawa, 1993
ウマノミツバハモグリバエ

2 ♀, OD.

21. *Phytomyza virgaureae* Hering, 1926

Phytomyza virgaureae Hering, 1926, Z.
Morph. Ökol. Tiere, 5: 458.

日本初記録；本種の幼虫は、ヨーロッパでは前述の *solidaginis* と同じ寄主植物 *Solidago virgaurea* の葉に潜孔し、成虫は胸部側縁の色彩と雄交尾器の形状の違いによって識別できる。すなわち、前種では postpronotal lobe (肩瘤) と notopleuron (背側瘤) が黄色であるのに対して、本種ではいずれも帯褐色を呈する。翅長は 2-2.2 mm；basiphallus には約 20 本の短棘が列生し、distiphallus の管はキチン化し、前種にはみられない腹面突起 (basiphallus の 2/3 長で、先端が角ばる環状) が basiphallus の末端に突き出ている。

1 ♂, FD；11 ♂, トド島, 12.viii.1958.

22. *Phytomyza* sp.

褐色額板をもつ種群に属する本種は鬼脇で採集された。額眼縁剛毛数・翅の脈相・雄交尾器構造の特異性などから、後日、新種として専門誌に公表する予定である。

23. *Chromatomyia horticola* (Goureau)

ナモグリバエ

1 ♂, MD；4 ♀, OW.

(載種を含む) のハモグリバエのうち、利尻島には 20 種、礼文島には 9 種、トド島には 2 種が分布する。わが国から初めての分布記録である 5 種、*Agromyza nigrella*, *Liriomyza flaveola*, *Phytomyza milii*, *Phy. solidaginis*, *Phy. virgaureae* のうち、*Lir. flaveola* は礼文島から、*Phy. virgaureae* は礼文島・トド島からの日本初記録である。

引用文献

Hendel, F. 1931-36. Agromyzidae. In Lindner, E. (ed.), *Die Fliegen der palaearktischen Region*, 59: 1-570. E. Schweizerbart'sche Verlagsbuchhandlung, Stuttgart.

笹川満廣, 1958. 利尻山の葉潜蠅. 京都昆虫同好会会報, 4(2): 11.

Sasakawa, M. 1961. A study of the Japanese Agromyzidae (Diptera) Part 2. *Pacific Insects*, 3: 307-472.

Sasakawa, M. 1993. Notes on the Japanese Agromyzidae (Diptera), 2. *Japanese Journal of Entomology*, 61: 341-354.

Sasakawa, M. 1994. Notes on the Japanese Agromyzidae (Diptera), 3. *Liriomyza*-miners on *Artemisia* spp. (Asteraceae). *Japanese Journal of Entomology*, 62: 55-64.

Sasakawa, M. & Matsumura, T., 1998. Agromyzidae (Diptera) in Insect Museum, National Institute of Agro-Environmental Sciences, with the description of seven new species. *Bulletin of the National Institute of Agro-Environmental Sciences*, (16): 1-17.

摘要

利尻島・礼文島・トド島に産する計 23 種 (1 未記